

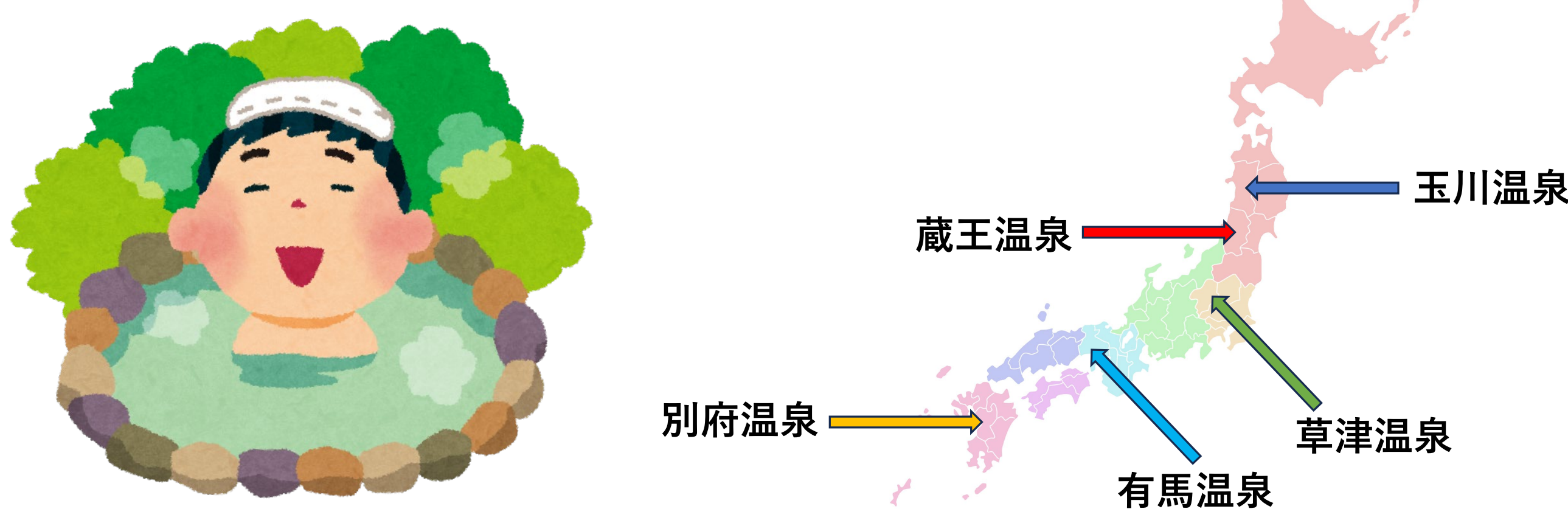
入浴関連有害事象の患者における呼吸障害の検討：単施設後ろ向き研究

1)横山 龍人, 2)鎚水 健也, 1)坂口 健人,
2)小野寺 悠, 1)小林 忠宏, 1)中根 正樹

1) 山形大学医学部附属病院 救急科
2) 山形大学医学部附属病院 麻酔科

Introduction

- 首から湯船に長時間浸かるような日本式の入浴は、日本で広く実践されている伝統であり、睡眠の質向上や抑うつ症状の緩和などの効能がある。
- 入浴に関連した有害事象として溺水や急性呼吸不全が知られているが、温泉入浴との関連を調べた報告は少ない。



- 本研究の目的は入浴関連有害事象の特徴を明らかにすることである。

Methods

- 2012年3月1日から2024年2月29日の期間に当院で治療を受けた症例。
- キーワードを用いて臨床データベースを検索した。

統計

- カイ二乗検定
- Fisherの正確検定
- p<0.05を有意とした。

Results: 患者背景因子

	温泉入浴 n=25	自宅入浴 n=98	p値
年齢	0-90 [IQR:23-39]	0-93 [IQR:19-46]	0.13
性別(男性)	18(72%)	59(60%)	0.26
認知症	0	5(5%)	0.12
先天性疾患	0	1(1%)	0.49
ダウン症	0	1(1%)	0.49
飲酒	2(8%)	11(11%)	0.62

Results:呼吸障害と転帰

	温泉入浴 n=25	自宅入浴 n=98	p値
急性呼吸不全 (SpO2<90%)	11(44%)	18(18%)	0.01
気管挿管	3(12%)	2(2%)	0.04
入院	13(52%)	36(37%)	0.16
院内死亡	4(16%)	7(7%)	0.19

Results: その他の有害事象

	温泉入浴 n=25	自宅入浴 n=98	p値		温泉入浴 n=25	自宅入浴 n=98	p値
心停止	2(8%)	8(8%)	0.97	中枢神経障害			
胸痛	0	2(2%)	0.33	意識障害	21(84%)	59(60%)	0.01
外傷				失神	18(72%)	46(47%)	0.02
頭部外傷	0	4(4%)	0.17	片麻痺・四肢麻痺	2(8%)	3(3%)	0.30
四肢外傷	0	1(1%)	0.49	めまい	1(4%)	2(2%)	0.59
その他				てんかん	0	8(8%)	0.05
脱力感	4(16%)	24(24%)	0.35	頭痛	2(8%)	4(4%)	0.44
腹痛	0	4(4%)	0.17				

Discussion



- 酸性温泉の誤嚥は重篤な呼吸障害を引き起こす。
- 温泉や自宅浴槽の雑菌が関連しているかもしれない。
- 意識障害や失神には、脱水症や熱中症が関連している可能性がある。

Conclusions

- 温泉での入浴は、急性呼吸障害や気管挿管に繋がしやすい可能性がある。
- 日本が直面する高齢化社会では、誰もが安心して入浴できる環境づくりが重要である。
- 今後は前向き研究を行い、重症化に関連する危険因子を検討し、重症化を防ぐ方法を開発していきたい。

References

- Integrated Crisis Management. 2018;3:84-90.
- Acute Medicine and Surgery. 2003;14:153-157.
- Artificial Respiration. 2011;28;1:83-88.